

**町田市スポーツ推進審議会
議事要旨**

日 時 2020年2月20日(木) 18:30~20:30

場 所 市庁舎 2階 2-2 会議室

出席者

川崎 登志喜	委員(会長)	玉川大学教育学部 教授	
宮崎 光次	委員(職務代理)	桜美林大学健康福祉学群長教授	
永吉 英記	委員	国士舘大学体育学部准教授	
山本 正実	委員	一般財団法人 町田市体育協会	理事長
岡田 栄	委員	町田市スポーツ推進委員	
水野 洋子	委員	NPO 法人スポーツ塾 J. VIC 代表	
北川 達三	委員	社会福祉法人賛育会第二清風園	施設長
坂井 早苗	委員	市民委員	
三村 徹	委員	市民委員	
薄井 忍	委員	南中学校校長	

欠席者

佐藤 正志	委員	町田商工会議所 専務理事	
-------	----	--------------	--

事務局

文化スポーツ振興部長	黒田 豊	
文化スポーツ振興部スポーツ振興課長	石田 一太郎	
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当課長	伊奈 誠	
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長	荒木 康伸	
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長	喜多 和則	
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長	須田 恵美子	
文化スポーツ振興部スポーツ振興課主事	石川 典子	
文化スポーツ振興部スポーツ振興課主事	阿部 正宏	
文化スポーツ振興部スポーツ振興課主事	佐藤 理子	

傍聴者 0名

議事

1. 開会
2. 委員紹介
3. 報告事項
 - (1) 町田市スポーツ推進計画 19-28 策定及びその後の経過について
 - (2) 2019 年度スポーツに関する市民意識調査アンケート調査結果について
 - (3) 町田市スポーツ推進計画 19-28 進捗状況について
4. 議事
 - (1) 町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン進捗状況について
5. 事務局
6. 閉会

配布資料

- ・次第
- ・資料 1 町田市スポーツ推進審議会委員名簿
- ・資料 2 町田市スポーツ推進計画 19-28 策定及びその後の経過
- ・資料 3 町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン (2019～2023 年度)
- ・資料 4 町田市スポーツに関する市民意識調査アンケート報告書
- ・資料 5 「町田市スポーツ推進計画 19-28」2019 年度進捗状況
- ・資料 6-1 2019 年度町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン進捗状況 (抜粋)
- ・資料 6-2 2019 年度町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン進捗状況 (詳細)

議事要旨

1. 開会

事務局からあいさつが行われた。

2. 委員紹介

新たに委嘱された薄井委員から自己紹介が行われた。

3. 報告事項

(1) 町田市スポーツ推進計画 19-28 策定及びその後の経過について

事務局が「資料 2 町田市スポーツ推進計画 19-28 策定及びその後の経過」をもとに説明を行った。

(2) 2019 年度スポーツに関する市民意識調査アンケート調査結果について

(3) 町田市スポーツ推進計画 19-28 進捗状況について

事務局が「資料 4 町田市スポーツに関する市民意識調査アンケート報告書」、「資料 5 町田市スポーツ推進計画 19-28 2019 年度進捗状況」をもとに説明を行った。

川崎委員 「子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった」という回答が増加したことについて、地域の差はあるようだが、市の現状としてスポーツができる場所は減っているのか。

事務局 忠生地域にある市立室内プールが、2018 年 9 月から 1 年間の休館していたことや東京都の金森調節池設置事業の実施に伴い、西田スポーツ広場の工事しており、10 年程度利用できないという状況である。

薄井委員 小・中学生の「運動・スポーツの好き・嫌いについて」の調査結果について、事務局から説明があったが、運動習慣等の調査結果について紹介したい。中学2年生については、1週間に60分以上運動している女子生徒は増加傾向にあり、全く運動していない生徒は過去5年間で最も少なかった。小学校5年生については、1週間に420分以上運動している児童が、過去5年間で最も少なかったという結果が出ている。

4. 議事

(1) 町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン進捗状況について

事務局が「資料 6-1 2019 年度町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン進捗状況 (抜粋)」をもとに説明を行った。

山本委員 「1-2-1 企業単位で行えるスポーツ情報、出前講座の提供」について、企業に出向いて講座を行っているとのことだが、企業から要請があつて行っているのか。

事務局 スポーツ振興課から各指定管理者に新たなアクションプランについて説明を行った。町田中央公園指定管理者については、スポーツ振興課からアクションプランの取組みについて実施を依頼し、健康優良企業に指定されている近隣の企業から取組みを実施したいとの要望をいただいため、双方からのアプローチにより実現した。総合体育館については、アクションプランの実施に向け、指定管理者から企業に提案し実施した。

川崎委員 ラグビーのパブリックビューイングはどこで実施し、どれくらいの人が集まったのか。
事務局 町田ターミナルプラザ市民広場で実施し、観客数 1,000 人、生涯学習センターホールで実施し、観客数 158 人、ポプリホール鶴川のカフェで実施し、観客数 200 人であった。

川崎委員 2019 年度の実績と 2020 年度に向けての取組みについて、事務局から説明があったが、特に目標値から遠のいている数値の取組みについて、2020 年度のアクションプランの取組みの中で、このような工夫をした方がよいのではないかといった点があればそれぞれの立場からご意見をいただきたい。

岡田委員 現在 15 名の推進委員が活動している。来年度 1 名増員する。それぞれの地区 (10 地区) でスポーツ推進委員が活動していくことを目標としている。

「1-1-1 まちとも連携した放課後のスポーツ推進」について、小山地区では、地域スポーツクラブとスポーツ推進委員が連携して、事業を実施できている。他の地域でも地域スポーツクラブやその他ニュースポーツを取り入れたい団体とスポーツ推進委員が連携していけるとよい。スポーツ推進委員として、指導していくというよりは、地域のスポーツ団体とスポーツ団体等のつなぎ役として活動していきたい。

高齢者のスポーツ推進にもスポーツ推進委員が関わっており、「スポーツを通じたコミュニケーション」と切り口を変えて取り組んでいる。高齢者支援センターでは、介護予防で運動を行っているようで、同様のことをしていると感じている。どのようにしたらさらにいろいろな場所で実施できるのか検討している。

水野委員 地区担当のスポーツ推進委員がいれば、地域のスポーツ団体との連携を進めるにあたり、まずはコミュニケーションをとるところから始められるとよい。コミュニケーションを

とることで実施に繋がっている事業が多くある。

地域スポーツクラブの活動で実施した高齢者向けのスポーツ教室は、時間が午後だったこともあり、参加者が少なかった。教室の開催時期や時間等も検討していく必要がある。

北川委員 高齢者のスポーツ推進について、「1-3-1 高齢者へのニュースポーツ推進」の実績値が忠生地域の1地域となっているが、スポーツ推進委員会の方に来ていただき、鶴川にある第二清風園でユニカール体験会を実施した。実績値のカウント方法は、スポーツ推進委員が行なったとなると、1地域になるのかもしれないが、実施主体や連携先を広げた方が、より現状に近い数値になるのではないかと。現状に近づけるため、実績値のカウント方法を見直していくことも必要なのではないかと。

川崎委員 実際には様々な地域で実施しているようではあるが、スポーツ振興課としてカウント方法についてはどのように考えるか。

事務局 現在、アクションプランとしては、スポーツ推進委員が12地域の高齢者支援センターと連携することを目標としている。そのため、スポーツ推進委員と高齢者支援センターが主体となり、連携することで実績としてカウントしていくことを考えている。実施主体や連携先の拡大やカウント方法については、今後検討する。

川崎委員 実績が1地域でも、どの程度その地域に広がっているのか等を検証し、評価方法について、今後工夫していただきたい。

坂井委員 ボッチャはとても人気である。子どもから高齢者の方まで実施している。ボッチャ等のインクルーシブルスポーツを継続して実施していけるとよい。

総合体育館で関東ボッチャ大会を実施している。大きな大会を誘致することで「する」だけでなく、「みる」「支える」スポーツに関わる人が増加するのではないかと。また、総合体育館に設置しているクライミングのように、なにかしらスポーツに関わるきっかけがあるとよい。

鶴間公園を活用することにより、スポーツに関する市民意識調査アンケートの「子どものスポーツの環境がよくなった」という調査結果に来年以降反映されてくるとよい。

薄井委員 小学校にはボッチャが広がっているが、中学校にはあまり広がっていない。

三村委員 基本目標3 スポーツ環境の充実について、芹ヶ谷公園が整備された。周辺住民は知っているが、市内全域で認知されているのか。芹ヶ谷公園も鶴間公園も利用者が少ないように感じる。芹ヶ谷公園では、スポーツではないがイベントを行っている。公園やスポーツ施設等で、市民ニーズに応えるようなイベントを実施するとよい。

薄井委員 中学生にスポーツ推進委員等がボッチャ指導を行い、中学生が高齢者にボッチャ指導を行うことは可能ではないか。現在、南中学校では、近隣の高齢者施設に生徒が出向き、風船バレーを行っている。また、来年度にかけて中学校の体育館はエアコンの工事を実施するにあたり、小学校の体育館を一時的に使用する機会がある。中学校と小学校との連携ができるのではないかと。

山本委員 スポーツ環境について、オリンピック・パラリンピック開催にあたり、体育協会加盟団体はスポーツを実施する場所がないため、大学連携の動向が気になる。

まちだ〇ごと大作戦で一般体操リズム運動連盟が実施している「まあい体操大作戦」が各地域で普及している。〇ごと大作戦でやっているスポーツ活動はどこかに関連付けて成果として取り入れることはできないか。

- 川崎委員 ○ごと大作戦とはどのような事業なのか。
- 事務局 ○ごと大作戦とは、オリンピックを契機として、市民の方のやりたいことを市が実現していく事業である。オリンピック終了後も市として継続して実施していく。
- 川崎委員 ○ごと大作戦等、他課が実施しているスポーツに関わる事業について、スポーツ振興課でも把握し、計画の進捗に加えられるとよい。
- 永吉委員 国士舘大学では、地域のスポーツ普及のため、スポーツプロモーションセンターを発足した。国本学園跡地にサッカー場が来年度中に完成する。サッカー場以外にも地域開放を検討・調整している。
- 子どものスポーツ推進として、公園でボールを使えるようにするのはよい取り組みである。文部科学省の見解では、子どもの体力低下の原因として、スマートフォンのゲームが挙げられている。公園の活用については、「なぜ公園では遊ばせないのか」という問いに対しては、保護者が「公園で遊ばせるのが不安だから」という状況があるが、公園にライブカメラを設置したことで、公園の利用率が上がったという先行事例もある。
- スポーツ実施率について、歩くやジョギングが多い現状にある。散歩やジョギングがしやすい公園やコースがあるとよい。台風や高温といった自然災害等により、外遊び出来ない状況もある。水飲み場があることや涼める場所があるところが好まれる傾向にある。ホームタウンチームとの連携については、広報誌を見ている市民が多いのであれば、広報まちだに告知だけでなく、チケット割引や地域の商店街の割引など特典があるとよい。現状ホームタウンチームの広報はどのようなことをしているのか。
- 事務局 ホームタウンチームの広報については、小学生の無料招待を広報まちだに掲載している。チケット割引やその他特典の掲載については、今後の課題として検討していく。地域との連携について、ASV ペスカドーラ町田は、毎試合ではないがチケットの半券をもっていくと、地域の商店で割引等を受けられるといった取り組みを行っている。
- 宮崎委員 桜美林大学は施設の市民への開放はできていない状況である。年に1日、2日でも開放できるよう、学内で調整していく。
- 桜美林大学では、スポーツフェスタを開催しており、350人程度地域の子どもが参加している。FC町田ゼルビアやASVペスカドーラ町田がサッカー教室を実施した。市と連携して広報等進めていくことができればよい。
- また、コミュニティ食堂（子ども食堂）を実施しており、高齢者の方にも参加していただき、食事を作ることや食べることに加え、子どもたちが縄跳びやボール遊び等を行っている。このように他のイベントと運動・スポーツを組み合わせることも良いのではないかと。
- 水野委員 障がい者スポーツの推進について、関東パラ陸上全国大会を町田市で開催している。地方の大会では、パラの選手が小学校等に出向き、走り方教室や模擬義足の体験会、パラアスリートの講演会を実施しているため、町田市でも検討してほしい。
- 川崎委員 各委員から様々な意見が出た。キーワードとしては「コラボレーション」。他部署で行っている事業でもスポーツに関わる事業については、スポーツ振興課で認知していくことや市以外の組織との連携を進めていただき、今後の取り組みに活かしていただきたい。

5. 事務局から

委員の現在の任期中の審議会開催は、今回が最後となる。次期委員の委嘱については、相談させていただく。計画策定にご尽力いただいた委員の皆さまには継続して、計画の進捗についてご意見をいただきたい。市民委員の委嘱については、公募となっている。ぜひ、再度応募いただきたい。

6. 閉会

以上